

当たり前の事を、当たり前に行う。

緊急事態宣言の延長が発表され、皆様におかれましては活動が難しく、気に病むことが多い日々が続いているのではないかと心中お察し申し上げます。

私共も、緊急事態宣言解除と同時に営業再開が出来る様に準備を進めておりましたが、一ヶ月延期を余儀なくされました。その様な中でも、現場や営業案件が動いている物件に関しては、どうしてもご訪問が必要な場合もあり、ご対応にあたり皆様にご心配ご迷惑をお掛けしない様に、対策を徹底しております。テーマは『当たり前の事を、当たり前に行う』。感染対策として消毒をするマスクをすると言った『ごく当たり前の事』ではありませんが、それを徹底する事を忘れず行動に努めております。

営業マン 事務所スタッフのコロナ対策

必要最小限の訪問 動いている物件の打合せなど、どうしても対面でなければならぬ打合せのみ、必要最小限の人間でご訪問させて頂いておりますが、皆様にご迷惑ご心配をお掛けしないよう、最大限に気を配りご対応させて頂いております。

マスクの絶対着用 訪問先では、マスクの着用を徹底しております。

手洗い消毒の徹底 消毒用アルコールをポケット用携帯ケースに詰め替え、ご訪問の前の消毒と、外から帰った時の手洗いうがいを徹底しております。



今出来る事は限られますが、中でも知恵を絞り、今できる事を最大限に行えるように、まずは『当たり前の事を、当たり前に行う』。この心がけで乗り切ります！

技術秘話 『CLT』を用いた空間構造

CLTとはCross Laminated Timberの略称で、ひき板(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料です。

CLTは1995年頃からオーストリアを中心として発展し、現在では、イギリスやスイス、イタリアなどヨーロッパ各国でも様々な建築物に利用されています。また、カナダやアメリカ、オーストラリアでもCLTを使った高層建築が建てられるなど、CLTの利用は近年になり各国で急速な伸びを見せています。日本では2013年12月に製造規格となるJAS(日本農林規格)が制定され、CLTの一般利用がスタートしています。



木の表面をそのまま見せて、木目や木の肌触りを感じる心地のいい空間ができ、民間の意匠性の高い建物の他、公共の建物でも需用は多くなっており、また、木材は持続可能な循環型資源であり、森林資源を有効活用した省CO2型の建物を建てられるという側面でも、大きな期待をされています。

近年急成長を見せるCLTと九州第一工業が培ってきた鉄骨の技術を生かし、CLT鉄骨ハイブリッドを弊社でもお手伝いできる様に技術を磨いております。『CLT』の空間を演出する意匠性、省CO2の環境性に、『鉄骨』の持つ耐久性、耐震性を合わせますと、『大空間のCLT建築』を実現する事が可能です！

新型コロナウイルス感染拡大が広がり、明るいニュースも耳に届きにくい所ですが、弊社では技術部隊も『今、この時に出来る事』として、前向きに新しい技術への挑戦を続け、皆様のお力添えが出来る様に邁進いたします。



※ 写真は海外でのCLT建築物件になります。

新『施工集』制作に着手！！

昨年春、ダイレクトメール用資料として作成した資料にて「九州第一工業さんは、こんな事もできるんですね！」と、大きな反響を頂く事ができました。その後社内でも「新しい施工実績集」を作り、営業に使用したいと意見が多く出ておりましたが、構想半年(短っ!)いよいよ、いよいよ制作に本格着手致します！

完成予定は、5月を目標としております！
が...担当多忙の為若干遅れる可能性もありますが、只今奮闘中でございます。
お手元に届くまで、あたたかくお待ち下さい。



モータリツに頑張ってます！！

九州第一工業 心話

- ★秋田会長：今年は福岡でも雪が降る日が多く、ゴルフ場が雪でクローズになる日が多く「週末暇だ！」と幾度となく聞きました。
が...自宅で雪見酒が出来たのは、ご満悦そうでした。
- ★田中くん：営業自粛が続く中、リモート打合せの機会が増え、お気に入りのイヤホンマイクは常時付けたまま、会議室に響く機会が増。体育会系→引越屋→魚屋からのIT営業マンに進化中！
- ★河野さん：愛車 日産スカイラインの調子が悪くなったのか、1月点検で代車で通勤していましたが「そろそろ買い替えかいな...」と、ちょっと寂しそうでした...。

「九州第一新聞(瓦版)」反響ありがとうございます

前回瓦版第1号を制作し、E-mailにて送信させて頂きましたが、皆様より本当にあたたかく、ありがたい反響のメールやお声など頂く事ができました。緊急事態宣言は延期となりましたが、春にはワクチン接種が開始されるなど希望が持てるニュースも聞こえてきます。完全な終息まではまだ時間が掛かりそうですが、今できる事を精一杯行い皆様と共にこの厳しい状況を乗り越えて行けるように、私共も力を注いでまいります。引き続き、お仕事の箸休めに、ご愛読頂けましたら幸いです。

発行所：Di 空間構造メーカー
九州第一工業 株式会社

本社 〒819-0001 福岡県福岡市西区小戸4-29-50
TEL: 092-894-6800 FAX: 092-891-3147

工場 〒869-4213 熊本県八代市鏡町有佐672
TEL: 0965-52-1910 FAX: 0965-52-1764

会社代表E-mail: di-info@ksdi.jp
営業専用E-mail: di-ssm@ksdi.jp

URL: <http://www.ksdi.jp>

購読料: 永年無料

読んで頂ければ幸いです(〃)m

発行: 1ヶ月1回 がんばります!(汗)